

二段受験

平成27年10月17日

空手で役立ったこと

西東京本部 浜田山支部 小林 羊子

空手で役立ったことと言うと、危険な目にあったとき空手で撃退した。などと書ければよいのだが私にはその経験は全くありません。しかし精神面では、非常に役立っていると思います。

私の友人の息子は他流派で空手を習っていました。昇段の際、組み手で必ず一勝しなければ昇段できないそうです。友人の息子は組み手が苦手なため昇段を目前にしてやめてしまいました。達成感を味わうことなくやめてしまったのはとても残念なことです。友人は結果のみを重視し、その過程は評価してくれないと言っていました。

琉球少林流は、目標に向かって努力し頑張ってきた過程を評価してくれていると思います。

努力する大切さや達成感を味わう喜びを得られることは、諦めない気持ちにつながり、日々の生活や仕事にも役立っていると思います。

これからも努力を惜しまず一段一段昇段していけたらと思います。今後ご指導よろしくお願いいたします。